



## Meet the Expert:

# 痛くさせない産婦人科小手術・外来診療をめざして ～米国における疼痛管理と実際～

日時

2025年 5月24日 (土) 17:00 - 18:30

場所

第6会場 (ANAクラウンプラザホテル岡山 1F 曲水東)  
〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町15-1 TEL: 086-898-1111

座長

亀井 良政先生

埼玉医科大学 医学部 産科・婦人科 教授

同時通訳  
付き

講演 1

牧野 真太郎先生

順天堂大学医学部附属浦安病院 産婦人科 教授

「産婦人科日常診療におけるPCBの活用」

講演 2

Dr. Alison Edelman, MD, MPH

オレゴンヘルス&サイエンス大学 産婦人科 教授、家族計画部門 部長  
Professor of OB/GY, Division Director of Complex Family Planning  
OHSU/Oregon Health & Science University

「Pain Management in the US:  
for pain-free Obstetrics and Gynecology  
Minor Surgery and Outpatient Care」

総合討論

# Meet the Expert: 痛くさせない産婦人科小手術・外来診療をめざして ～米国における疼痛管理と実際～

局所麻酔（PCB：傍子宮頸管ブロック、ICB：子宮頸管内ブロック）は国際的に産婦人科領域の小手術や処置において広く活用されています。最近では本邦でも改めてその有用性が見直されてきています。WHO2022年ガイドラインでは、外科的中絶の疼痛管理において、14週未満、または14週以降の手術時もしくはは吸湿性頸管拡張材使用時に対するPCBの使用推奨事項が追加されました。PCBやICBはMVA手術時だけでなくIUD挿入術、円錐切除術、レーザー蒸散法等、産婦人科領域小手術への活用の可能性があります。本セミナーでは、産婦人科診療における痛みの向き合い方について日本と米国の取り組みとしてご講演いただきます。

## ◆ 演者プロフィール ◆

### 講演 1

順天堂大学医学部附属浦安病院 産婦人科 教授

## 牧野 真太郎 先生



#### 【経歴】

2001年 順天堂大学医学部卒業  
2003年 順天堂大学医学部産科婦人学講座専攻生  
2005年 カナダアルバータ大学留学  
2008年 順天堂大学医学部産科婦人学講座 助教  
2012年 順天堂医院産婦人科 准教授  
2018年 同先任准教授  
2020年 順天堂大学浦安病院産婦人科 教授

#### 【資格】

日本産科婦人科学会専門医・指導医  
母体保護法指定医師  
日本周産期・新生児医学会周産期専門医  
日本女性医学学会女性ヘルスケア暫定指導医

### 講演 2

オレゴンヘルス&サイエンス大学 産婦人科 教授、家族計画部門 部長

## Dr. Alison Edelman, MD, MPH

Professor of OB/GY, Division Director of Complex Family Planning  
OHSU/Oregon Health & Science University



#### 【経歴】

1997年 オレゴンヘルス&サイエンス大学(OHSU) 医学博士 (MD)  
2001年 OHSU 産婦人科レジデント  
2003年 ワシントン大学 公衆衛生学修士 (MPH)  
2003年 OHSU 家族計画部門フェロウ  
2004年 米国産婦人科学会 (ABOG) 産婦人科専門医資格  
2015年 オレゴンヘルス&サイエンス大学 産婦人科 教授

オレゴンヘルス&サイエンス大学にて産婦人科医として臨床に従事、特に家族計画を専門としている。2015年に産婦人科部門において最年少で教授に就任。独立した研究資金を獲得する臨床研究者として、婦人科処置における疼痛管理、避妊による月経変化の管理、避妊の開発、緊急避妊、肥満と避妊効果の関係、また、近年はCOVID-19ワクチンと月経周期の関係等の分野で研究を行っている。現在までに100本以上の査読付き論文を発表。

避妊および中絶分野で国内外において広く認知されている専門家であり、また、後発発展途上国 (LMIC) における現地での豊富な経験から、人道的環境を含む性と生殖に関する健康 (SRH) の分野で、持続的な発展支援に取り組むグローバル専門コンサルタントとして20年にわたり活動している。国際NGOや各国の保健省と連携し、SRHの現状評価、関係者との協議、現地向けのエビデンスに基づく指導や臨床実習を目的として、翻訳、カリキュラムの開発・導入、医療従事者およびトレーナーへの技術支援・研修の提供、標準作業手順書の設計、品質保証監査の実施など、多岐にわたる業務を携わっている。

2022年、国連 (UN) および世界保健機関 (WHO) の性と生殖に関する健康・研究部門の科学技術諮問グループ (Scientific Technical Advisory Group) に3年の任期で任命。また、同分野において多数の指導的役職を務めており、コクラン生殖調節レビューグループ (Cochrane Fertility Regulation Review Group) の主任編集者、学術誌 Contraception の副編集者、米国疾病予防管理センター (CDC) の避妊使用のための医療適格基準 (MEC) および選択的実践ガイドライン (Selective Practice Guidelines for Contraceptive Use) に関する専門作業部会のメンバー、さらに世界保健機関 (WHO) のWHO MEC運営委員会のメンバーを務めている。

全論文のリスト:

<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/myncbi/alison.edelman.1/bibliography/41144878/public?sort=date&direction=ascending>